

<随想～寄席こぼれ話>

落楽会顧問 古今亭 志ん雀



洋上落語も粋なもの！

クルーズ船「につぼん丸」に乗船してきました。船内イベントとして落語をやる仕事です。クルーズ船は航海中にお客様が退屈しないよう、様々なエンターテイナーが乗船しています。歌手や歌舞伎俳優、文化人などのメインエンターテイナーのほかに、たいていは落語家も乗っています。

ふだんなかなか味わえない世界を経験できるのはありがたいのですが、あまりこの歳でひとり乗っている人はいないので、落語家だとばれる前ははたしてどう見られているのやら…

ネタ選びも慎重にしなければなりません。落語を聞くために来られているお客様ではないので、あまりマニアックな演目や下ネタなどは避けたほうが良いと思います。「佃祭り」という斬などは船が転覆する場合がありますので、これは絶対だめでしょう。と思っていたら、ダイニングでかかっていたBGMがタイタニックでした。いいの…？

12月19日火曜日13時より、お江戸日本橋亭にて、春風亭昇々さん、林家はな平さん、柳家風柳さんとの四人会がございます。年内最後の会であると同時に、建て替え前のお江戸日本橋亭で行う最後の会でもあります。こちら合わせてよろしくお願いたします。お問い合わせ 03-5876-4263



<第31回例会報告>

開催日時 11月14日(火)19:00～於:深川江戸資料館
 出演者(3名)演目 桂空治「錦明竹」、柳亭小痴楽「のめる」「つけ馬」、桂文治「幽霊の辻」「平林」
 参加者(敬称略) 岩田規子、渡部一俊、土屋正孝 計3名
 短評 久しぶりに文治師匠の落語を堪能。「幽霊の辻」は案内のおばあさん役が絶妙、「平林」はお遣いに出た定吉が行先の名前が判らず人に聞いていくうちに次々と変わっていく妙を熱演。小痴楽師匠は八さんと隠居さんがお互いに相手に口癖を言わせる駆け引きの話、吉原のとげつけたつけ馬の話、いずれも軽妙。実父の故痴楽とはまた違った味わいがある。また、小痴楽師匠がかつて文治師匠の弟子だったことがありそこで、しばしばに二人会をやっているとのことを初めて知った。

<今後の例会予定>

第32回 12月2日(土)16:00～ねりとう年末忘年パーティ 於:練馬区役所20F「交流会場」 会費5,000円
 注)落楽会メンバーの口演が行われるのでこのイベント参加を例会とする予定
 第33回 1月5日(金)18:30～新春特選落語会(たい平、一之輔他) 於:なかのZERO大ホール 全席指定3,800円
 注)現在参加申込者6名(チケット確保済み)
 第34回 1月31日(水)13:30～新春特選落語会(大泉落語研究会) 於:大泉学園ゆめりあホール 無料
 注)我々に仲間(落楽会メンバー)の風来坊くも助さんが出演されます。

<その他寄席開催情報>

12月14日(木)19:00～林家たい平独演会 於:有楽町朝日ホール 全席指定3,700円
 12月17日(日)13:30～年の瀬落語会 於:勤労福祉会館 無料
 12月19日(火)13:00～四合わせ落語会(はな平、志ん雀、風柳、昇々)於:お江戸日本橋亭 前売り2,000円
 12月20日(水)18:00～夢の3競演(文珍・南光・鶴瓶) 於:LINE CUBE SHIBUYA 7,000円、4,000円)
 1月6,7日(土、日)12:30, 17:00～桂文枝新春特選落語会 於:有楽町朝日ホール 前売り5,500円
 1月14日(日)16:00～三遊亭小遊三、春風亭昇太二人会 於:銀座プロッサム 全席指定3,900円
 2月8日(木)19:00～桂宮治独演会 於:よみうり大手町ホール 全席指定3,900円

発行責任者:土屋 正孝